

市川よみうり

2009年 8月15日 第1510号

市川市市川2の4の9
発行所 加藤ビル2階 〒373-8585

電話047(321)717 (代表
321)797

毎月第1、2、3、4上曜日発行定価50円
昭和53年 5月 4日 第3種郵便物認可

市川よみうり新聞社

FAX (321)718
[日本ABC協会加盟紙]

魚たちへの思いを込めて…

浦安市の境川で灯ろう流し

浦安市の堀江一丁目自治会と猫実東自治会、同市でまちづくり活動を進める市民団体「海・まち・デザイン」は八日夜、灯ろう流しを同市の境川

で開いた。これまで同市では行われていなかった灯ろう流しを見ようと、地域の若い夫婦からお年寄りまでの多くの人が川岸に集まっていた。

開発が進み漁師町だったころの自然豊かな様子からは大きく変ぼうした同市。灯ろう流しは「川、海、生き物の鎮魂」(海・まち・デザイン)の思い

を込めて行

われた。灯

ろうは、市

内の魏子や、

河川をきれ

いにするポ

ランティア

活動を行っ

ている。こ

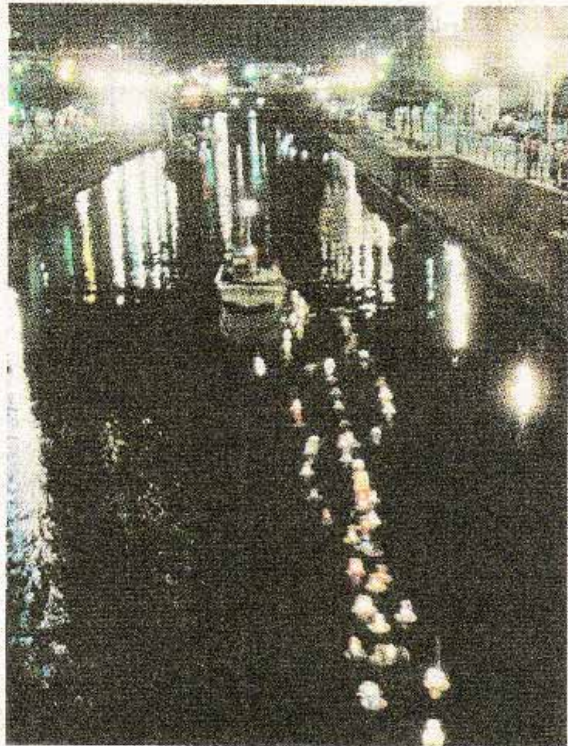
さと浦安か

っぱ村など

がペットボ

トルや紙で

作った約七



境川に小さな明かりを灯して流れる灯ろう

十基で、船や魚の形をした灯ろうのほか、アオギスやハゼの形をした大きなものも登場した。ロウソクに火が灯された灯ろうは船にえい航され、「昔たくさんいたアオギスなどの魚が戻ってくるように。いずれは灯ろうが(水門)でさえぎられることなく、海までたどり着くように」との願いを背負い、境川を下った。市内の山澤貫さんは「子供の夏休みの思い出になれば」と参加。息子の健太君(8)と祐人君(6)は「灯ろう作りは楽しかった。きょうのことはママとおばあちゃんに話す」、同市に約七十年住む女性は「浦安で灯ろう流しは見たことがない。今回が初めてだと思う」と話していた。